宇宙核物理連絡協議会・2014年秋季 日米合同物理学会

インフォーマルミーティング　議事録

日時：2014年10月8日（水）16:00 – 17:30 (HAST)
場所：Room Kona-1, Hilton Waikoloa Village

参加者（順不同、敬称略）：
本林（理研）、梶野（天文台）、上坂（理研）、小澤（筑波大）、
鈴木（日大）、西村（理研）、早川（JAEA）、嶋（RCNP）

議事

１．今回のインフォーマルミーティング開催の告知が遅れたことについて
代表よりおわびがあった。

２．報告事項：

原研　　ANNRIが本格的に共用開始→実験提案はPACで審議

筑波大　・6MVタンデム　３月輸入→組立・ガス充てん・昇圧成功
変更申請待ち　来年３月までには first beam
・小松原さんの後任→森口氏

理研　　・Rare RIリング；今年度内にキッカー電源を揃え、来年度
コミッショニング（重イオン使用）。
・SLOWRI順調に進行中
・低エネルギー実験用ビームライン計画中
・12月1-5日 国際会議TCP2014（高松、和田さんchair）
http://indico2.riken.jp/indico/conferenceDisplay.py?confId=1395
11月28,29日 TCPスクール（理研和光）
・11月25日予定 Kratz来訪、ワークショップ

RCNP　・GRAND-RAIDEN 0°ビームライン(GRAF)コミッショニング中
・大塔コスモ観測所内低バックグラウンド用シールドの一部を
吹田キャンパスに移設

・8月7,8日 第5回宇核連研究戦略ワークショップを開催した。
参加者数43名
・11月5,6日 NNR14（ニュートリノ核応答）ワークショップ開催

KEK　KISSプロジェクト；あと1.5桁程度のS/N改善を目標

国立天文台　・すばる望遠鏡；[Fe/H]=-7.2 (world record)の星を観測
・TMT 10月7日起工式　2018年 first light予定
・超新星＋ニュートリノ＋EOS包括議論
12月16-20日 seminar + free discussion

その他　分子研UV-SORで逆コンプトンガンマ線の発生に成功。

３．JINA-CEEとの懇談会について

双方の体制、活動内容等について紹介があった後、以下の内容の共同活動の可能性について協議した。

（１）合同ワークショップの開催；トピックスとしては
・ニュートリノ物理と弱い相互作用＆光-レプトン-ハドロン(CER)＋核反応
・重力波物理、重力波天文 (KAGRA 2015年末 初期観測開始)＆超新星爆発＋中性子星連星系合体の物理
・r-過程の核物理、天文
・高密度物質のEOSとX線天文観測 (ASTRO-H, 2015年打ち上げ)
など。

（２）JINA-CEE-UKAKUREN 協定
MOU の交換---実際には具体的な機関の間で取り交わすことになる。

（３）財源
合同ワークショップ開催等に必要な財源確保のための努力を双方が行う。

（４）ビジタープログラム
双方にビジタープログラム制度があり、研究者、ポスドク、学生の派遣も可能。

（５）スクールの共催
ウィンタースクールの共同開催など。NIC-14（2016 年 日本開催）のスクールも機会のひとつ。

４．国際会議等

NIC-14を2016年に日本で開催。天文台と理研が主催。
Chairperson; 梶野氏、co-chair;西村氏。想定参加者数300~400名。
開催地の候補を検討中。皆さんの協力をお願いいたします。

５．宇核連役員改選について

任期３年の規定により来年改選を行う。幹事を中心に手順等を策定する。